

公共政策研究 第4号 目次

巻頭言 公共性の政策基準と政策評価——一つの問題提起—— 山口 定 2

特集テーマ「法の政策学」のねらい 2004年度年報委員会 4

特集 法の政策学

法制度設計におけるいくつかの視点 阿部 泰隆 5

立法の復権か立法への逃避か 渡辺 康行 15

市民参加・協働条例の現状と課題 大久保 規子 24

法政策学における経済学活用の可能性について 和田 淳一郎 38

社会契約説の応用と実践——その再構成と現代的意義—— 関谷 昇 44

論文

政策移転の政治過程——アイディアの受容と変容—— 秋吉 貴雄 59

評価にかかわる NPO のアカウンタビリティ
——地方自治体における市民参加の新たな潮流—— 岩 渕 公 二 71

研究ノート

公的年金改革——政府案の分析と評価—— 台 豊 83

日本の金融システムにおける天下りと銀行間競争
——「護送船団方式」の計量分析—— 朴 盛 彬 95

ホームページのコンテンツ分析からみる県議会議員とその政策情報
山本 竜 大 108

書 評

新藤宗幸著『概説 日本の公共政策』 廣瀬 克 哉 120

宇賀克也著『改正行政事件訴訟法』 鈴木 庸 夫 121

学界展望 (2003年1月～12月) 足立 幸 男 122

2004年度学会賞の報告 2004年度学会賞委員会 129

公共政策フォーラム 2004 イン気仙沼「学生による政策コンペ」
長 峯 純 一 130

執筆者紹介 132

投稿規定・執筆要領 133 / 会則 135 / 英文サマリー 137

バックナンバー案内 144 / 編集後記 146